

日本周辺国際魚類資源調査（要約）

和田 由香*・金田一拓志・大水 理晴・鈴木 亮

目 的

国連海洋法条約に基づき、公海を回遊しているマグロ類及びサメ類の科学的データを完備するための調査を行うものである。

材料と方法

1 調査漁協等（図1）

- (1) マグロ類 岩崎村漁業協同組合、深浦漁業協同組合、三厩村漁業協同組合、大間漁業協同組合、尻労漁業協同組合、六ヶ所村海水漁業協同組合、八戸みなと漁業協同組合、(株)八戸魚市場
- (2) サメ類 八戸みなと漁業協同組合、(株)八戸魚市場

2 調査項目

(1) 漁獲状況調査

1尾ごとの体重を水揚げ伝票から収集し、集計した。

(2) 市場測定調査

深浦漁業協同組合、三厩村漁業協同組合、大間漁業協同組合で水揚げされたクロマグロの、体重、体長を測定した。

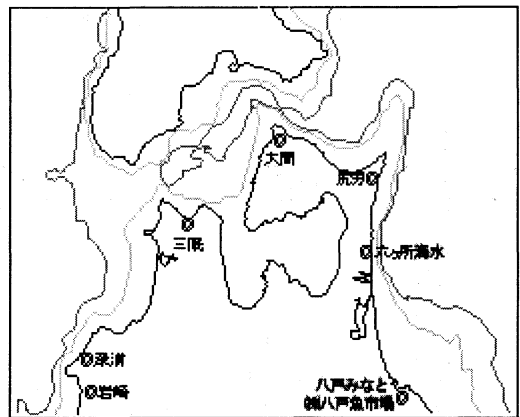


図1 調査漁協等

結 果

平成20年度調査結果の概要を以下に示す。

- 1 クロマグロ 調査対象7地区の平成20年度のクロマグロの漁獲量は765トンで、前年（794トン）の96%となり、海域別では日本海283トン（前年332トン）、津軽海峡では359トン（前年427トン）、太平洋124トン（前年35トン）であった（図2、表1）。

定置網による漁獲は、日本海側では6月と9月、太平洋側では5、7月と11、12月にピークがあり、釣り

や延縄漁業では、例年より約1ヶ月遅い9～11月にピークがあった。

平均体重は、津軽海峡の釣りでは大間で123.1kg（前年143.0kg）、三厩で67.7kg（前年62.0kg）、日本海側の定置網では深浦で10.5kg（前年14.4kg）、岩崎で10.1kg（前年13.3kg）であった。

- 2 サメ類 漁獲量は464トン（前年511トン）であり、そのほとんどが底曳網で漁獲され、99%がアブラツノザメであった（図3、表2）。

発表誌：平成20年度日本周辺国際魚類資源調査報告書、独立行政法人水産総合研究センター、平成21年3月。

*青森県東青地地域農林水産部青森地方水産業改良普及所

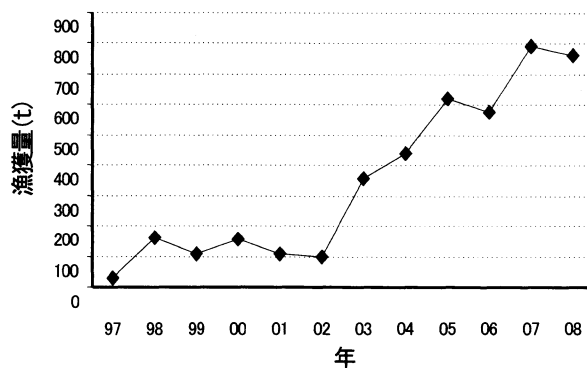


図2 クロマグロ漁獲量経年変化

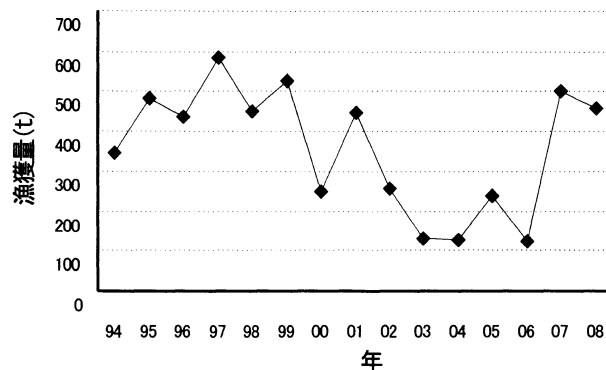


図3 サメ類漁獲量経年変化

表1 地先別、月別クロマグロ漁獲量

								単位:Kg
月	岩崎	深浦	三厩	大間	尻労	六ヶ所	八戸	計
1月			4,693	2,297	1,477	127		8,593
2月								0
3月								0
4月					42			42
5月	2,714	1,082			28,336	16,547	189	48,867
6月	56,366	67,833	1,326		9,759	380	795	136,459
7月	11,557	12,950	20,373	3,112	11,468	698	245	60,402
8月	2,430	16,423	23,729	31,103	628	97	106	74,516
9月	872	86,086	19,378	54,893	293	26	60	161,606
10月	12,294	6,893	18,475	47,845	3,813	517	171	90,007
11月	3,388	2,074	24,515	62,973	22,541	2,015	0	117,505
12月		123	11,717	32,207	22,023	1,226	97	67,393
計	89,621	193,465	124,204	234,429	100,379	21,632	1,661	765,391

表2 八戸地先のサメ類の漁獲量

				単位:Kg
アブラツノザメ	ネズミザメ	その他	計	
460,197	3,605	651	464,453	